

## 第92回 GAORA 番組審議会記録(2026年3月開催)

第92回番組審議会が3月10日(火)に開催され、対象番組について審議を行い、委員の皆様から以下のご意見をいただきました。

<対象番組> 年忘れ！ファイターズ納会ゴルフ2025 ～打ち納め大潜入 SP～  
初回放送:2025年12月27日(土)10:00～11:00

### <番組概要>

2025年激闘のシーズンを終えた北海道日本ハムファイターズ。プロ野球シーズンオフの風物詩ともいわれる「選手会納会ゴルフ」にGAORAのカメラが潜入。ゴルフ未経験の若手選手が挑む初ゴルフの様子やプレッシャーの中、カメラを向けられる選手のショットも見所。

また、チームNo.1の飛距離を決めるドラコン企画も開催。ファイターズOB・新垣勇人による選手たちへの突撃インタビューも。さらに意外なセンスが光るゴルフファッションにも注目。仲の良さが溢れ、和気あいあいとした雰囲気で行われた納会ゴルフ。選手たちの素顔満載でお届けします。

### <委員長総括>

■各委員の評価は、総じてほのぼのとしていて、フワツとした印象の番組であった。

試合の生中継にはドラマ性があり臨場感を伝えられるが、オフのゴルフコンペを視聴者にどう見せるのか、制作者の意図を反映させにくい難しさが現れていた。ファンは、選手の人柄や普段の姿をみたいところであろうが、制作者は、番組をどう位置付けるのか、見せ場を何処に置くのか、どう演出するのか、工夫のしどころがあった。

今回の各委員のコメントも踏まえて、是非、来年も「納会ゴルフ」の番組化に生かしてもらうように期待する。

### <審議意見> 委員の主な意見は次の通り

■ゴルフファン向けではなく、純粋にファイターズファンをターゲットにした番組であった。選手がゴルフを競い合うわけでもなく、プロゴルファーとの対決でもなく、納会ゴルフへの潜入としてプレー方式に変化を加えることもできず、制作者には演出が限定された難しい番組であった。

前半はダラダラとした印象であったが、新垣さんが登場したドラコンホールは番組の流れに変化が出ていいスパイスとなっていた。ただ、彼を知らない一般視聴者からすると「この人は誰？」と唐突感があった。

■最初から選手のゴルフの腕前には期待せず、若手を中心とした選手を身近に感じる事が出来た番組であった。プロ野球のオフコンテンツとしてはよいのではないかと。新垣さんの役割が何であったのか、番組として彼に何を期待したのかが上手く伝わらなかった。見終わってみて、組み合わせはどうであったのか、ゴルフコンペの成績や順位はどうであったのか、といった疑問が残った。最後に表彰式の模様などがあれば番組としてももう少し中身が濃くなったのではないかと。

- そもそも選手会の納会ゴルフとはどのような位置付けで、どのような流れで選手はプレーしていたのかが分からず、冒頭に何らかの説明が欲しかったところ。ただ楽しんでいる選手の様子を見せたかったのか、番組としてどう展開して制作者は何を伝えたかったのかが不明瞭であった。もっと思い切った編集や極端な整理をする構成もあったのではないかと。多数の選手のシーズン振り返りコメントを入れるなど、選手のしゃべりがもっと聞きたかった。番組として何となくゴルフをしているだけの印象になっていて残念であった。
- 選手会のゴルフコンペの撮影には、何かと制約があったのであろうと想像する。初めての試みとして番組化したことをまず評価したい。思うようにいかないゴルフから選手の人柄や野球ではみられない一面に触れられた。視聴者目線では、カメラホールでは、チャンネルキャククターの“ガオヤン”を前面に打ち出して賑々しくするとか、GAORA賞としてドラコンを豪華な仕立てにするなどの演出が欲しかった。また、水谷選手など個性的なウェアもみられたので、『ベストドレッサー賞』を制定するなどの工夫があれば更に番組を華やかにできたのではないかと。
- 全体を通して何となく緩い感じの番組であった。納会ゴルフコンペとは何なのかが分からないまま終わってしまった。前半、中だるみの感じは否めなかったが、選手達は自然体で和気あいあいとして仲の良い雰囲気はよく伝わってきた。更に注文を付けるとすると4人各組毎に盛り上がっている映像や、今日のベストショットなどいいところをもっと見たかった。また、番組締めめのところでも他の選手のコメントをもっと聞きたかった。
- 初めの第一歩として「納会ゴルフ会」をオフシーズン番組として新たに取り組んだところを今回は評価したい。選手同士の和気あいあいとした雰囲気はよく出ていたが、オフモード過ぎて番組としては凹凸がなくツルンとした印象の番組になっていた。視聴者としては物足りず、ファンとしてはオフモードの中にある選手のオンの姿がみたいところ。シビアな意見として、制作者には見せ場の作り方や演出の工夫でオンの姿を引き出して欲しかった。広く選手をとり上げる方法も選択肢ではあるが、逆にもっと絞り込みクローズアップすることで凹凸をみせる演出方法もあり、今後の番組作りに期待したいところである。

#### [審議委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、沢松奈生子委員、森本志磨子委員、石塚徹委員（以上7名）

以上、GAORAでは、委員の皆様の貴重なご意見を、より良い番組をお届けしていくために活用させていただきます。